

令和2年度 第4回下関市市民協働参画審議会 議事概要

- 1 開催日時 令和2年12月22日（火）10時30分から
- 2 開催場所 下関市役所本庁舎西棟5階大会議室
下関市南部町1-1
- 3 出席者 下関市市民協働参画審議会委員 15名（3名欠席）

4 審議会概要

（1）市民部長挨拶

（2）議題

① パブリックコメントの実施結果について

事務局より提出された意見（有効意見1件）について説明した。

（委員）パブリックコメントの意見が、住民の抱える課題を的確にとらえたものであったので、補足意見として述べる。

自治会、町内会がどんどんつぶれていっているが、それらはまちづくりの基本単位である。

町内の人間関係が希薄化しているということであるが、その原因は新しい人が入ってこないことであり、それは町内のお店、町内のイベント等”場”がないからである。まちづくり協議会のイベント等は対象が広く、町内の人間関係という点ではあまり効果がない。町内における様々な企画、取組によって人間関係が構築されていくというイメージが大事である。自助、共助、互助も行き来ができる、町内の人間関係が重要である。

（委員）過疎地域にあっては、人間関係はできているが人がいない、高齢化により自治会活動が維持できないという問題が目立つ。しかし、自身が過疎地域にお住まいでも、市内に家庭をもった子どもがいて、子どもから支援を受けているというケースは多く、地域の自治が機能していなくても成り立っている場合もある。過疎地域にあっては

そのような家族関係や最近取組を始めた都市農村交流といった視点も重要である。

先程のご意見は基盤づくりが重要という話だと理解しており、行政としての対応が難しい部分だと思うが、例えば、地域の子ども（小、中、高）が地域活動にふれる、家族連れ等いままで参加が少なかった世代が参加できる場づくりを行政が支援することで市民も活動しやすくなると考える。

（委員）行政の取組として、OB人材の活用について検討していただきたい。

② 第4次下関市市民活動促進基本計画の答申について

③ 第4次下関市市民活動促進基本計画表紙デザインについて

④ 今後のスケジュール

事務局より1月に下関市市民協働参画推進本部会議において、パブリックコメントの結果報告及び審議会からの答申について報告し、市長決裁を経て計画策定となり、2月に開催される定例議会総務委員会で策定について報告し、公表する旨説明した。

（3）その他

事務局より11月24日に助成事業審査部会を開催し、市民活動補助金後期募集に申請のあった4団体について審査を実施し、交付決定することとした旨説明した。

以上で全ての予定を終了し、閉会した。